

セルラーLPWA(LTE-M)デバイスの普及加速に向けたサービス企画提案

KDDI株式会社 大塚雄三 yz-ootsuka@kddi.com

開発における問題点

本年からセルラーLPWAの通信サービスが提供開始され、「電源確保」、「コスト負担」のIoT普及の課題を解決できる無線通信技術として注目されている。今後急速な拡大が見込まれているが、対応デバイスが市場に出てくるのはこれからの状況であり、現時点では「電池持ち」、「コスト」など普及加速をする上で問題が多い。

手法・ツールの適用による解決

- ①セルラーLPWA(LTE-M)の普及加速の戦略を練るために、クロスSWOT分析を実施
- ②各ユースケース比較を行いターゲットを選定
- ③ターゲットのクロスSWOT分析を行い戦略検討
- ④ビジネスモデルをリーンキャンパスで設計
- ⑤ユースケース図を作成し、アーキテクチャに落とし込みビジネスモデルの有効性を確認

ビジネスモデルの設計

①クロスSWOT分析

③クロスSWOT分析

環境分析

②ユースケース比較

④リーンキャンパス

ターゲットの戦略検討

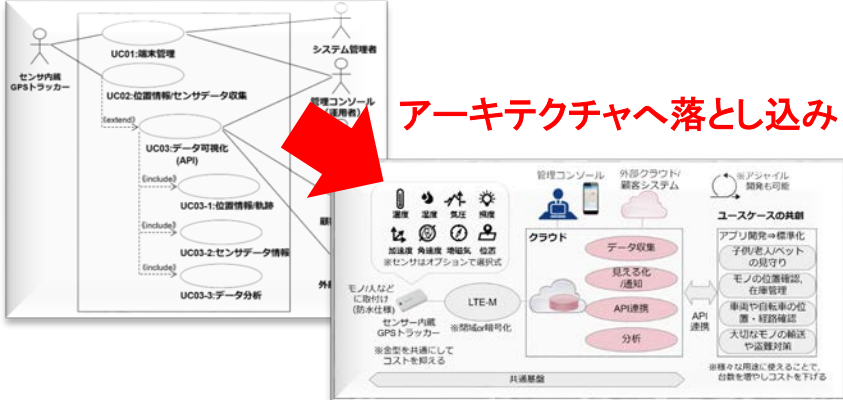
ターゲットユースケースのビジネスモデルの設計

モデルの有効性確認

まとめ

⑤ユースケース図／アーキテクチャ

ユースケース図の作成



アーキテクチャへ落とし込み

電池持ちやコストの問題がクリアされるにつれ、これまで導入できなかったモノへのIoT化が可能になり、多くのユースケースへの適用が見込める。本稿では販売台数が期待できる「モノのトラッキング」のビジネスモデルを提案するとともに、多くのユースケースに対応できる共通基盤を設計し、ビジネスへの有効性を確認した。

[今後の展開]

- ・顧客ニーズの深堀/ユースケースの共創
- ・共通基盤のサービス企画/ビッグデータ活用検討
- ・省電力端末の企画,開発
(省電力モジュール採用/低消費電力技術の活用)

※ビジネス上の理由からイメージのみ紹介